

第124回

経済史研究会

経済史研究会を下記の通り開催いたします。

大学院生を含め多くの研究者の参加をお待ちしています。

報告

林 幸司 成城大学経済学部教授

テーマ

1960年代、
アメリカの台湾援助と相対基金

概要

1960年代、アメリカ援助を核とするアジアの国際資本移動は、「帝国の論理」から「冷戦の論理」、そして「自立化の論理」が併存する、錯綜した状況を生み出した。アメリカ援助をめぐる態勢が刻々と変化する中で、援助の受け手である台湾側はどのようにこれを受け入れ、配分し、活用しようとしたのか。本報告では、同時期の米援見返資金（相対基金）の運用を事例として、こうした問題について予備的考察をおこなう。

日時

2026年6月20日（土）14：00～17：00

形式

対面（会場：大阪経済大学 G館3階 共同研究室 I）・
オンライン（Zoom）併用

申込

参加ご希望の方は下記フォームよりお知らせください

<https://forms.gle/hwGViStmk7wii82v5>



【懇親会】 研究会終了後に予定しております。
会場・会費等詳細は当日お知らせいたします。

新経済史
宣言

大阪に座して
時空を超える

大阪経済大学 日本経済史研究所

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8

TEL：06-6328-2431 E-MAIL：nikkeisi@osaka-ue.ac.jp

<https://www.osaka-ue.ac.jp/research/nikkeisi/>